



平成25年2月7日

各位

会社名 日清紡ホールディングス株式会社
(コード番号3105 東・大・名各第一部、札、福)
代表者名 取締役社長 鶴澤 静
問合せ先 取締役 常務執行役員 村上 雅洋
事業支援センター長
(TEL : 03-5695-8833)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成24年11月7日に公表した平成25年3月期(通期)の連結業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

● 業績予想の修正について

平成25年3月期(通期)連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 475,000	百万円 15,000	百万円 15,500	百万円 7,000	円銭 40.07
今回修正予想(B)	450,000	10,000	12,500	4,000	22.90
増減額(B-A)	△25,000	△5,000	△3,000	△3,000	
増減率(%)	△5.3%	△33.3%	△19.4%	△42.9%	
(ご参考) 前期実績(平成24年3月期)	379,340	4,170	8,680	9,415	53.83

修正の理由

当期の重点課題として取り組んでまいりましたエレクトロニクス事業(新日本無線株)の抜本的な事業構造改革は所期の効果を発揮しており、また不動産事業も工場跡地の分譲事業本格化により大幅な増収・増益となるなどそれぞれ従来予想を達成する見込みです。しかしブレーキ事業はTMD社が連結子会社に加わることにより大幅な増収となるものの、予定していたのれんの償却費負担等に加えて、景気悪化に伴う欧州自動車市場の不振による受注減少等により、売上、利益とも予想を下回る見込みです。また精密機器事業は世界的な太陽電池の在庫過剰の影響が続いており、主力の太陽電池モジュール製造装置の売上、利益が想定を下回る見込みであり、一層のコストダウンと価格競争力の回復を目指し事業構造改革に取り組んでいます。

以上の要因その他により、売上高、営業利益は前期比では増収増益となるものの従来予想を下回る見込みです。

営業利益の減少に伴い経常利益も従来予想を下回る見込みですが、TMD社の子会社が発行する社債の一部を買い戻し金利負担が減少したこと他の要因により、営業利益に比べ減少幅は縮小する見込みです。

また、当期純利益は、上記のTMD社子会社の社債償還に伴う発行費の償却や償還損に加え、精密機器事業の事業構造改革に伴う退職金加算等の特別損失の発生などを見込んでおり、従来予想を下回る見込みです。

(注) この資料に記載されている業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績はさまざまな要因の変動により予想数値と異なる可能性があります。

(本件に関する問い合わせ先)

日清紡ホールディングス IR広報グループ TEL 03(5695)8854